

令和6年度第2回幕別町部活動地域移行検討委員会 開催結果

1 開催日時

令和7年1月9日（木）18時56分から19時58分まで

2 開催場所

幕別町教育委員会 会議室

3 出席者

【委員】

久保委員、横山委員、小田委員、高道委員、小松委員、加藤委員、坂口委員、
沖田委員、西山委員（Zoomで出席）（全9名） ※欠席1名：稗田委員

【教育委員会】

白坂教育部長、酒井学校教育課長、石田生涯学習課長、甲谷学校教育係長、
松田社会教育係長、吉田社会体育係長、喜多学校教育推進員、小林

4 議題

(1) 部活動地域移行に関するアンケート結果報告について

(2) 部活動及び少年団活動の実態調査報告について

(資料に基づき説明)

【質疑・意見】 ○：委員、●：教育委員会

- 予想どおりのアンケート結果であった。本結果を参考に、この後の進め方、どういうビジョンを持って進めていくか、上手く持っていけたらという気持ちである。
- 他の地域と比べても、概ね同じようなアンケート結果であったが、文化団体の方が、まだ内容が分からないことも多いと思うが、子どもたちを受け入れて取り組みたいという意見が多く、期待が持てる結果であった。この結果だけで何か動くわけではないが、生徒の選択肢が増えるような結果だなと感じた。

(3) その他（野球部地域移行に向けた取組についての情報提供）

【質疑・意見】 ○：委員、●：教育委員会

- 地域移行は、部活動と学校を切り離すことだと私は思っているので、地域でクラブチームが立ち上がることは良いと思うが、学校が主導で行うのであれば、これまでと変わらないのではないかと。最終的に地域で指導していく場をどれだけ作っていくことが、子どもたちの活動の場を作っていくことになると思うので、学校が主導していくというのは、極力ないほうが良いのではないかと。
- 学校主導でクラブチームを運営する訳ではない。地域の住民として、声を掛けてクラブチームを立ち上げている。間違っていて欲しくないのは、急にクラブチームになって、あとは勝手にやりなさいと言われても、子どもたちは混乱するだけなので、最初は学校の教職員の力を借りて取り組んでいくことにしたものである。地域の方のみで運営

できるかと言うと、すぐには難しいので、保護者や子どもたちの意見も聞いて、今回の形を作っている。将来的には地域で取り組んでいくことになるが、その状態を作るまでの過程なので、決して間違った方向に向かっているものではない。発展的に今後進めば良いと思っている。

- 条件によっては指導してくれたり、情熱を持って指導に取り組んでくれたりする学校の教職員もいるのでそこを切り離さないで考えていったほうが良いと思う。
- 中学校のアンケートで自分のペースで部活動に参加したいというのが、74%の割合で非常に高いと思った。集団で行うことは少年団活動で多いと思うが、自分のペースで参加するとなると、活動が成り立たないのではないかと、心配である。
- アンケートの回答は子どもたちの捉え方にもよると思うが、自分のペースで参加できないというのはどういう意図で答えているのか、練習の頻度なのか、度合いなのかは疑問がある。
- アンケートを見て感じたことは、学校の部活動の地域移行のアンケートに対して、中学校の先生が70%しか回答していないのは、大変申し訳ない。それと、中学校の保護者のところで、給料に見合った仕事をして欲しいというところが大変ショックだった。部活動で給料をもらっていると思われているのだなど。逆に言えば、部活動について学校で保護者に説明しているが、内容が上手く伝わっていないのだと感じた。野球部の地域移行については、それぞれのニーズがあって噛み合わさって進んでいる。ゆくゆくは地域の方で進めて行く時に幕別町には住んでいないけど、幕別町で指導していきたいという人も出てくるかもしれないし、指導者を町内在住に限定してしまうと、地域移行は全く進んでいかなないのではないかと思う。まず野球で地域移行が進んでいくので、これを前例にしながら、少しずつ広げていくことが大事ではないか。
- 野球のクラブチームについて、立ち上げに当たっては、中学校の校長、十勝全体の中体連も含めてかなり動いて、かなり大変だったと思う。これを次に吹奏楽のクラブチームを立ち上げますと言っても簡単にはできない。様々な問題を解決しないと進んでいかない。今回は、喜多推進員が積極的に動いてくれたので、非常に助かった。
- 今後、地域移行については、とにかく動けるところは様々な検証を行い、試行錯誤をしながら、動いてみるのが大事かなと思う。その一方で今は「地域移行」と言っているが、国では「地域展開」という言い方に変えてきている。色々試行錯誤している最中だが、なぜこの取組をしなければいけないのか、検討委員、地域の方々、教職員とともに、共通の理解を深めていく必要がある。部活動の地域移行は、地域づくりにも繋げていかなないといけないので、放課後の子供たちの活動をどうするかを丁寧に伝えながら、また意見もいただいてみんなで考えていくことも並行して進めていくことが必要かなと感じる。行政についても、今回野球のクラブチームの大会参加時には部活動の時と同様、スクールバスを出してもらうことは良いことだと思うが、これから色々な団体が地域移行していくに当たって、全てをスクールバスや大会の助成金の対象にはできないし、地域移行に伴って、これまで支援していた内容を縮小することは良いことではないと思うので、その辺の整理は必要である。特にスクールバスは、学校の教職員も気にされていて、地域移行して今後も利用して良いものなのか、心配されている声を聞いている。サッカーやバドミントンはクラブチーム登録もあるが、

今回の野球は中体連登録になるのか。

● そうである。

- 種目によっては、クラブチームの登録、中体連の登録などに分かれているものもあるので、クラブチームの登録になった時に、部活動と同様の支援を行うのかなど、その当たりも整理して考えていく必要がある。
- 地域連携というのは、幕別町の生き残りをかける一つの方法だと思う。子どもたちを地域連携で育てるというのはどういうことかということ、幕別町は良い地域連携をやっているからここに住みたいなというシステムを作る必要がある。他町村ではない地域連携を作ることが幕別町の発展に繋がるので、まずビジョン作りを進めていくことが必要である。そして、できることから始めていく。少しスピード感がなさすぎるので、早く動いて行かないといけない。そのためにはどうしたらいいかを考えないと進んでいかないと思う。細かいことは色々あるが、ビジョンがまずないと上手く進んでいかない。どういう子どもを育てたいか、人口が増えれば、財政的にも良いし、そういうような地域連携をしていくべき。私も幕別町に住んでいるから、なんとか人口を増やしていきたいと思う。
- 野球のクラブチームについて、今年の4月からクラブ化するという事で、仮にバドミントンやっている子が野球もやりたいなとなったときに可能なのか。
- 中体連の規定で、夏1種目、冬1種目と決まっているので、バドミントンと野球の大会に参加することはできない。
- 子ども達に選択肢を与えられるように、そういった部分も変えていければ良いと思う。
- アンケートの結果についてだが、幕別町役場の中に地域移行の専門部署を設けたらどうかという意見があり、面白いなと感じた。財政的な問題はこれから問題になってくると思うので、そういったことが分かる人も検討委員会に入ってもらえるとありがたいなと思う。

5 次回の会議について

次回の検討委員会で、本町の部活動地域移行を進めていくに当たってのビジョンを考えていくので、各委員においては、次回の検討委員会までに考えてきて欲しい。

開催は1月中若しくは2月上旬を予定している。2月までにあと2回（計4回）の検討委員会を開催できればと考えている。